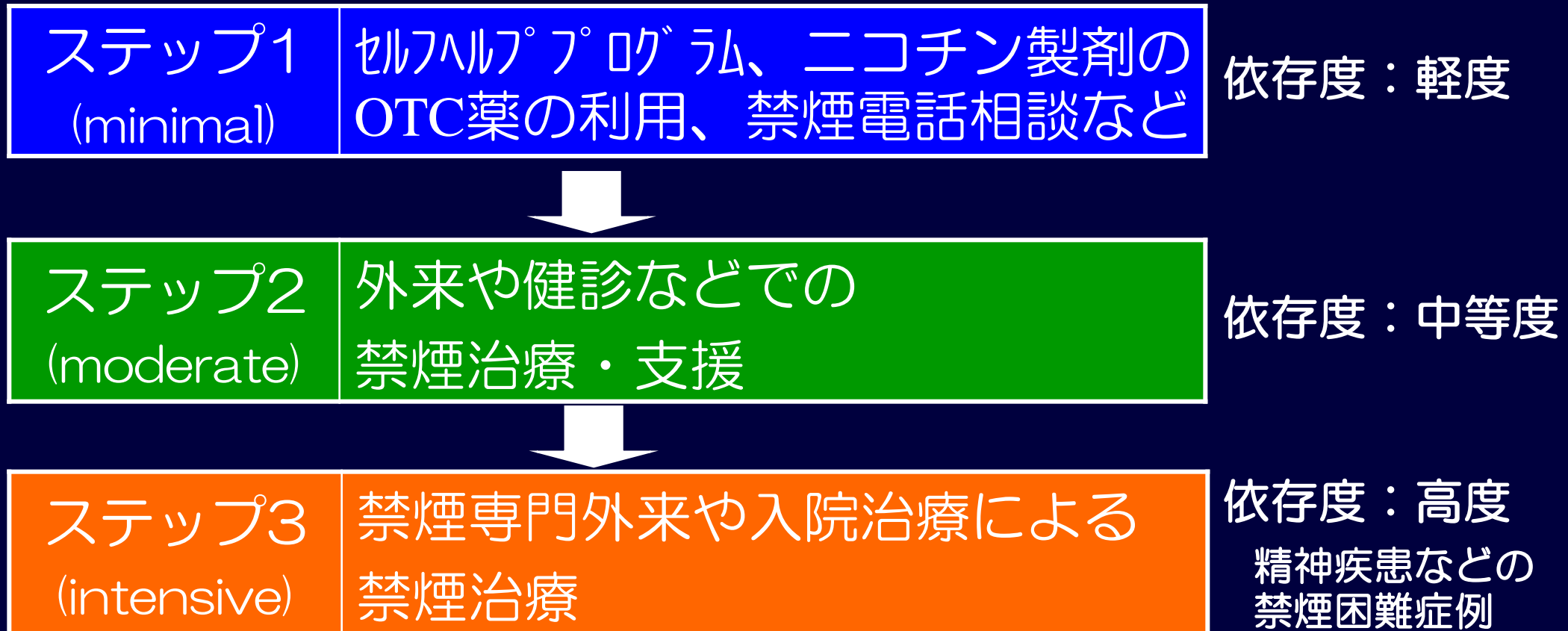


# 無料の禁煙電話相談システム創設の提案

- Quit lineの有効性に関しては、すでにCochrane review など多くの研究が実施されており、その有効性とすぐれた費用効果比は確立している。
- **厚生労働省「受動喫煙防止対策のあり方に関する検討会」報告書**（2009年3月24日公表）の今後の課題(4)には「(前略) 諸外国における**クイットライン(電話による禁煙相談)のように手軽に活用できる禁煙支援のための方策・連携体制の構築**等について検討する必要がある。」との記述がある。
- 日本には、現在全国に**375施設のがん診療連携拠点病院**があり、ここには**電話相談の仕組みがある**ので、まず第1段階としてこれを活用する。
- 第2段階として全国共通の**無料禁煙相談の電話番号**をとることとし、たばこの外箱にQuit lineの電話番号を示すことを検討するべきである。

# 禁煙サポートのステップ・ケア・モデル



# 精神障害者が禁煙することのメリット

1. 薬物依存症からの解放
2. 喫煙による身体合併症の予防・悪化防止
3. 精神症状の安定化  
(但し禁煙中は一時的に悪化する場合あり)
4. 薬剤減量、副作用減少の可能性
5. 経済的な負担の軽減
6. QOLの向上

# 禁煙による血中濃度上昇が予想される精神科薬剤

CYP1A2やグルクロン酸トランスフェラーゼなどにより代謝される薬剤 ( )内は主な商品名

種類	薬剤名
向精神薬	クロルプロマジン(コントミン、ウインタミン)、フルフェナジン(フルメジン)、ハロペリドール(セレネース)、オランザピン(ジプレキサ)
抗うつ薬	アミトリプチリン(トリプタノール)、イミプラミン(トフラニール)、クロミプラミン(アナフラニール)、ノルトリプチリン(ノリトレン)、フルボキサミン(デプロメール、ルボックス)
抗不安薬	ジアゼパム(ホリゾン、セルシン)、アルプラゾラム(コンスタン、ソラナックス)、ロラゼパム(ワイパックス)
その他	$\beta$ ブロッカー　プロプラノロール(インデラル)
	気管支拡張薬　アミノフィリン(ネオフィリン)、テオフィリン(テオドール、スロービット)

(注) 禁煙による血中濃度上昇がないと予想される向精神薬

リスペリドン(リスパダール)、アリピプラゾール(エビリファイ)、クエチアピン(セロクエル)

- 出典
1. 戸田紘子:禁煙指導各論 薬局などで 日本禁煙学会編. 禁煙学. 南山堂, 東京.p.106, 2007
  2. 加濃 正人編:タバコ病辞典 実践社